

## 平成29年度 第2回東広島市男女共同参画推進審議会 要旨

- 1 日 時 平成30年3月27日（火）10：00～11：30
- 2 場 所 東広島市役所 本館3階 会議室303
- 3 出席者 《 委 員 》坂田会長、小坂副会長、越智委員、坂越委員、坂本委員、竹井委員、財満委員、津森委員、廣川委員、藤本委員  
 《 事務局 》天神山部長、佐川課長、中村係長、藤原主任、森田主任
- 4 欠席者 《 委 員 》小勝負委員、楨原委員
- 5 資 料 別紙会議資料のとおり
- 6 内 容
- (1) 議題1 会長・副会長の選出について
- (2) 議題2 男女共同参画推進事業の平成29年度取組状況及び平成30年度計画について  
 【資料1、2】
- (3) 議題3 男女共同参画に関する市民意識調査について【別紙資料】
- (4) その他 東広島市男女共同参画推進審議会スケジュール（案）について【資料3】

発言者	発言内容
部長	<開会挨拶>
事務局	<議題1：会長・副会長の選出について>  会長に坂田委員、副会長に小坂委員が選出される。
事務局	<議事の進行について>  それでは、本審議会規則第6条第1項により「本審議会の会議は会長が議長となる」こととなっております。議事の進行について、坂田会長へお願いしたいと思います。坂田会長、よろしく申し上げます。
	<議題2：男女共同参画推進事業の平成29年度取組状況及び平成30年度計画について>  【資料1、資料2について、事務局説明】
坂田会長	ただ今の事務局の説明に対しまして、何かご質問やご意見がございましたら発言をお願いします。  (意見なし)
坂田会長	資料1についてですが、平成29年度に広島大学で実施された、キャリアデザイン講座のみ、他と比べて満足度が低いのはなぜですか。

事務局	<p>本講座は、学生に結婚、子育て及び男女のパートナーシップについて考えてもらうために、こども家庭課と共催で実施したものです。当課は、国の調査結果をもとに、男性の過半数が「女性は、出産後も就業し続けるのが良い」と回答しながらも、実際に家事・育児に従事する時間は女性に偏っているという事実を伝え、結婚前に、家事や育児分担について、パートナーと十分に話し合っておくことが必要であることを伝えました。</p> <p>ただ、講座の中心は、東広島市内で活動されている「おせっかいおばさん」という、婚活サポートを行っている団体による結婚や婚活に関する話であり、学生の中には、将来のビジョンが見えた人もいる一方で、まだイメージができない人も少なからずいたため、このような結果につながったのだと考えます。</p>
事務局	<p>補足ですが、本講座は、広島大学の授業として、婚活や妊娠などに関する内容で実施しました。学生にとって、「結婚」というとなかなかイメージしづらいように感じましたが、興味を持って聴いてくださっている様子でした。</p>
坂田会長	<p>学生にとって、「仕事」や「キャリア」については考える機会が多いですが、「結婚」についても、考える機会があれば良いかもしれませんね。</p>
藤本委員	<p>資料1の9番「生涯学習まちづくり講座」について。「パパママ世代のお金のマネジメント」講座など、とても良い企画だと思いますが、主にどういうところから依頼があるのですか？</p>
事務局	<p>これは、生涯学習課が作っている、「生涯学習メニューブック」の中の講座の1つで、地域センターなどの地域団体からの依頼を受けて出前講座を実施しています。</p>
事務局	<p>今年度は、6回実施させていただいています。主には地域団体ですが、県の農業技術センターでも2回実施させていただきました。</p>
竹井委員	<p>平成30年度ワークライフバランス講座についてですが、保育施設や介護施設を対象としたことはとても良いことだと思います。</p>
事務局	<p>これまでの対象は「市民と企業」というようにターゲットを明確に絞っていませんでした。ワークライフバランスの意識醸成にはつながっているとは思いますが、さらにもう一步踏み込んだ形で、受講した事業者が少しでも変わっていただけるような実り多いものにする必要があると感じています。事業者全体ではなく、業種ごとの方が、よりニーズに応えられるのではないかと考えています。</p> <p>まずは一般企業の中でも市の実情に合った業種に対象を絞りこんで実施したいと考えています。また、女性が今後さらに活躍していくと思われる介護や保育などの事業所の柔軟な働き方推進を後押しできるような内容にしていきたいと考えています。</p>
竹井委員	<p>市内でも、「企業型保育園」ができると聞きましたが、どのような運営をされるのでしょうか。</p>
事務局	<p>正式には「企業主導型保育事業」と言いますが、民間企業が、雇用している従業員の子どもや地域の子どもを受け入れて保育を行う認可外保育施設です。各企業が国の補助制度を活用し、設立運営します。</p>
竹井委員	<p>それによって、待機児童は減るのですか？</p>
事務局	<p>待機児童の解消には一定の効果があると見込んでいます。</p>

	<p>また、竹井委員がおっしゃったものとは違いますが、本日お配りしている広報紙の5ページに、「育児コーナー」を設けている企業の紹介があります。民間企業や病院などの施設に、このような取組が広まりつつありますが、国の補助制度などを活用していただきながら、このような取組をさらに広げていただきたい、と企業にもお願いしているところです。</p>
坂田会長	<p>来年度の事業計画に向けての提案があればお願いします。</p>
藤本委員	<p>ワークライフバランス講座における業種別セミナーにおいて、関係団体と連携すれば、相乗効果があり、良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>今は、市役所内でも横のつながりを大切にしながら、積極的に連携してやっていかなければ十分な効果が得られないと思いますので、それぞれの担当課から関係団体などに関する情報をもらいながら、少しでも効果が出るように取り組んでいきたいと考えています。</p>
坂田会長	<p>おしゃべりカフェ特別講座で、男性向けの取組が1つあります。それはとても良いことだと思いますが、もう少し何かできればいいのではないかと思います。男性はなかなか集まりにくいので、平成29年度に「時短料理で上手に舵（家事）とり」という講座が開催されていましたが、「男性にもできる料理講座」のように、男性を対象としたものがあれば良いと思うのですが、開催したことがありますか。</p>
事務局	<p>前回の審議会でも意見をいただきましたが、女性活躍を推進するためには、男性の理解が必要ですので、男性を対象にした講座が必要であると感じています。</p> <p>3月25日の日曜日に、こども家庭課主催で「こども未来フェスタ」という子育て世帯向けのイベントを行ったのですが、その中で、「パパと一緒にクッキング」という、父親と未就学児を対象としたイベントを連携し実施したところです。今後も、こども家庭課などと連携しながら、男性向けの講座も進めていきたいと思っています。</p>
坂田会長	<p>それは良いことです。男性は、テーマがはっきりしている方が参加しやすいと思うので、今後も進めていただきたいと思っています。</p>
<p><b>&lt;議題3：男女共同参画に関する市民意識調査について&gt;</b></p> <p><b>【別紙資料について、事務局説明】</b></p>	
坂田会長	<p>ただ今の事務局の説明に対しまして、何かご質問やご意見がございましたら発言をお願いします。</p>
藤本委員	<p>問7の「女性自身の意思を尊重する方が良い」という選択肢については、削除しても良いのではないのでしょうか。女性の意思を尊重した上で、職業を選択している現状から見ると不要であると思います。</p> <p>最近、広島県の女性が健康寿命ワースト1位という大変ショックな結果が出ました。</p> <p>女性は、健康寿命を延ばすための意識が概して高い印象があるので、何らかの行動を起こしている人も多いと思います。そこで、「健診を受けていますか」という項目に加えて、「自分で、健康を保つための行動を起こしているか」という項目を意識調査の中に入れてみてはどうでしょうか。</p>

事務局	項目を追加することは可能です。
坂田会長	健康に気を付けていない人が、どうして気を付けていないのかも気になりますが、がん検診を受けていない女性は、子育て中の人が多いと聞きます。子育て中の女性の場合、子どものことを優先し、自分の健康は後回しになりやすい傾向があるので、そのような項目があってもいいかもしれませんね。
坂田会長	健康に関する項目については、1つ追加するとして、他にありますか。
津森委員	問4についてですが、選びにくいので、前回の調査のように、「%」で出す方が答えやすいのではないのでしょうか。 また、尋ねる順番も、「理想」から聞くのではなく、「現実」から聞く方が良いと思います。現実についてまず振り返って、次に理想を考えた方が答えやすいので。
坂田会長	確かに、「現実」を先に尋ねた方が答えやすいかもしれませんね。また、「優先」という言葉は、他と比較することが前提なので、1つずつ聞かれると難しいかもしれません。ここは要検討ですね。
小坂副会長	「仕事より家庭生活を優先している」という書き方であれば、わかりやすいかもしれません。
坂田会長	事務局は、項目の再検討をお願いします。
事務局	再検討いたします。
藤本委員	意識調査を実行する前に、近所の高齢者、中年、若い人にサンプルとして、実際にやってみてもらって、答えにくい項目がないかなど、感想を聞いてみたらいいかもしれませんね。
坂田会長	質問項目を確定する前に実施したら良いですね。高齢者の方は、カタカナの単語が分かりづらい、ということもありますから。
坂越委員	事務局から提案された、問15や問16の項目などについては、内容が重なる問が多く、回答しづらくなるので、整理された方が良いのではないのでしょうか。
坂田会長	その辺りも検討してください。 他はいかがでしょうか。
越智委員	問7の項目ですが、6番目の選択肢で「パートタイム・アルバイト」「フルタイム」という言葉が追加されているが、どのような意図があるのでしょうか。
事務局	「フルタイム」「短時間」どちらの働き方を女性の求める人が多いのかを調べるためです。「パートタイム」という言葉は、「短時間」という意味で入れました。
越智委員	6番目の質問項目の「家事・育児に影響が出ない程度で、パートタイマーやアルバイトをする方がよい」とするのであれば、「家事・育児に影響が出ない程度で、フルタイムで職業を続ける方がよい」という反対の項目も必要ではないのでしょうか。項目がきれいに分かれていない印象があります。

坂田会長	「仕事を続けても良いが、家事・育児を優先した方が良い」という意図であれば、そのような質問になるように選択肢を整理してはどうでしょうか。最近はフルタイムでも短時間勤務もできますし、パートタイマーという、一旦仕事を辞めて、再度働き始める、というイメージがあるので。
事務局	再度検討し、整理します。
坂田会長	問30の「エスポワールに期待する事業について」の項目を、今回削除するのはなぜですか。
事務局	<p>前回の調査において、「エスポワール自体を知らないのに答えようがない」という回答が一定数あったことと、問28で市の施策で期待することについて尋ねるため、削除しました。その代わりに、エスポワールに関する説明文を入れたいと思います。</p> <p>まずは周知を図る、ということですね。わかりました。</p>
<p>&lt;その他：東広島市男女共同参画推進審議会スケジュール（案）について&gt;</p> <p>【資料3について、事務局説明】</p>	
<p>&lt;閉会&gt;</p>	
坂田会長	<p>それでは、本日本日予定しておりました議事について終了したいと思います。折角の機会ですので、他に委員の皆様から、ご意見、ご質問等がございましたら、お伺いしたいと存じますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（意見なし）</p>
坂田会長	<p>今日資料を持って帰られて、気になる項目がありましたら、事務局に直接お伝えいただけたいと思います。</p> <p>委員の皆様方には、長時間にわたり御審議いただき誠にありがとうございました。これもちまして、平成29年度第2回東広島市男女共同参画推進審議会を閉会し、事務局にお渡しします。</p>
事務局	<p>坂田会長には、長時間にわたって議事進行をしていただき、また、委員の皆様には、ご審議をいただき誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。</p>